

講義名称	ソーシャルワーク論Ⅱ
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	社子→専門展開／理作看→主題
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	社子→1年後期／理作看→4年後期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	社会福祉学科（3）、子ども教育保育学科（3）、理学療法学科（1）、作業療法学科（1）、看護学科（1）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学看護学部看護学科	72210133
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	14214002
金城大学医療健康学部作業療法学科	52210146
金城大学医療健康学部理学療法学科	42210146
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24210002

担当教員

氏名	所属
◎ 三和 直人	大学

授業概要	ソーシャルワーク実践の基盤と、ソーシャルワーク専門職であるソーシャルワーカーの実践について講義を行う ソーシャルワーク論Ⅱでは、① ソーシャルワークの倫理と倫理的ジレンマ ② ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲 ③ ソーシャルワークの形成過程 ④ 総合的かつ包括的な支援（ジェネラリスト・ソーシャルワーク）と多職種連携の意義と内容 ⑤ ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク の5つの事項を取り扱う
到達目標	医療・保健の隣接領域である社会福祉の援助技術としてのソーシャルワークの概要について理解できる。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	
	オリエンテーション： ソーシャルワーク論Ⅱ で何を学ぶか	
	【事前事後学修の内容】 『シラバス』の中の「ソーシャルワーク論Ⅱ」のシラバスに目を通しておくこと。	【事前事後学修時間（分）】 30
第2回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの倫理（1） 専門職倫理の概念と倫理綱領	
	【事前事後学修の内容】 テキストのp172～180を読んでおくこと。（60）	【事前事後学修時間（分）】 60
第3回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの倫理（2） 日本社会福祉士会の倫理綱領と行動規範	
	【事前事後学修の内容】 テキストのp180～187及び事前配布資料の『日本社会福祉士会行動規範』を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 90
第4回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの倫理（3） ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマ	
	【事前事後学修の内容】 テキストのp192～203を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60

第5回	【授業計画】	
	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	テキストのp206～218を読んでおくこと。	60
第6回	【授業計画】	
	社会福祉士の職域と役割	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	テキストのp219～226を読んでおくこと。	60
第7回	【授業計画】	
	ソーシャルワーカーの職種と職場	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	テキストのp227～234を読んでおくこと。	60
第8回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの形成過程（1） ソーシャルワークの源流と基礎確立期	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	テキストのp120～131を読んでおくこと。	60
第9回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの形成過程（2） ソーシャルワークの発展期	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	テキストのp132～144を読んでおくこと。	60
第10回	【授業計画】	
	ソーシャルワークの形成過程（3） ソーシャルワークの展開期	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	テキストのp145～151を読んでおくこと。	60
第11回	【授業計画】	
	11回目：ソーシャルワークの形成過程（4） ソーシャルワークの統合化	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	テキストのp151～156を読んでおくこと。	60
第12回	【授業計画】	
	ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と特徴	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	テキストのp270～288を読んでおくこと。	60
第13回	【授業計画】	
	ジェネラリスト・ソーシャルワークにおける多職種連携とチームアプローチ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	テキストのp289～302を読んでおくこと。	60
第14回	【授業計画】	
	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	テキストのp246～254を読んでおくこと。	60
第15回	【授業計画】	
	まとめ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	第1回から第14回までの授業内容について、ノート・資料等を見直しておくこと。	120

履修に必要な予備知識や技能	現代社会が抱える問題状況について、新聞やテレビ等から幅広く情報を収集しておくこと。また授業で理解したことを文章で端的に表現出来る力を身につけておくことが望ましい。
---------------	---

課題に対してのフィードバック	毎回提出のコメントカードの記載内容について、次回授業のはじめの時間を使って講評を行う
評価方法・基準	定期試験、及び毎回提出のコメントカードの記載内容を点数化して評価する。 (定期試験70％ コメントカード記載内容30％)
教科書	『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座11 ソーシャルワークの基盤と専門職〔共通・社会専門〕』中央法規出版 ・毎回の授業は教科書の記述の解説を中心に進める。 参考書：『三訂 社会福祉士の倫理 倫理綱領実践ガイドブック』中央法規出版
実務経験の内容・期間	社会福祉士19年（病院の医療ソーシャルワーカー 5 年、児童相談所の児童福祉司 4 年、福祉事務所の現業員 6 年、福祉事務所の老人福祉指導主事 4 年）